

補足資料1：『学生芸人さんは企業にとって金の卵』

近年様々な研究からユーモアと仕事のできる・できないの関係がわかってきています。文京学院大学大学院准教授の大島希巳江氏の研究によると、

2006年に、東京都にある保険会社の営業担当者400人を対象に行った調査によると、ユーモア度が高い人ほど、営業成績がいいという結果が出た(出典：2013年3月12日、『[心理学が解明「大笑いすると、創造力が3倍になる」](#)』、PRESIDENT ONLINE)

とのことで、ユーモア度と営業成績の関係がわかってきています。

仕事ができる人のトーク、例えば製品やサービスの説明やその比喻がユニークで面白いと思われたことはありませんか。その切り口で例える？何かノセられてしまう、といったようなことがあります。

ユニークな経営で有名なアメリカのサウスウエスト航空では、採用基準に「ユーモア・センス」を取り入れており、今後もこのような研究の成果が、ビジネスに活用されることが考えられます。「ユーモア・センス」というと、人を爆笑させるようなことを想像しがちです。しかし、ユーモアの能力とは、「その場を和ませる力」、更というと「その場を楽しむ(おもしろがる)力」=「ユーモア・スキル」と言っても良いと考えています。全ての人が爆笑させるような人になる必要はありません。重要なのはどんな状況においてもその場を和ませよう、その場を楽しもう、とする人になることなのです。

「ユーモア・スキル」とは

日本即興コメディ協会では、少しアカデミックなアプローチになりますが、ユーモア・スキルを4つの能力にまとめています。

1. 表現力： 笑い表現(反応)を行うための声や表情・動きまたは意欲を司る能力
2. 創造的思考力： ユーモアを感じ取る(生み出す)ために視点を変えて思考する能力
3. コーピング力： ユーモアを感じ取る(生み出す)際に生じる緊張や不安に対処する能力
4. 論理構成力： ユーモアを表現するための論理の構成または立て直しを司る能力

これら4つの能力を磨くことによりユーモア・スキルを高めることができ、これらをベースに「ユーモアスキル養成講座」というワークショップを定期開催しています。

学生芸人さんは企業にとって金の卵

ユーモア・スキルが仕事に役立ち、磨くことのできるスキルだとわかったところで学生芸人さんに目を向けてみましょう。学生芸人さんは、日々ライブや大会などで、漫才やコントを披露しています。日常で面白いことを見つける、面白がる、ということを実践しており、ユーモア度も高いと言えます。仕事ができるようになってからユーモア・スキルを身につけることも可能ですが、学生時代からユーモア度を高めている学生芸人さんは金の卵と言えるでしょう。

また、ここ数年で欧米を中心にコメディの手法やコメディアンをビジネスの世界に活用する動きが活発化してきています。即興コメディの劇団とマーケティング調査会社が即興コメディ手法を取り入れたブランディング・アイデア創出の専門会社を立ち上げています。また、コメディアンと一緒にマーケティング・メッセージを考えるサービスを提供している会社もあります。

今後、イノベーションが必要となる日本では、ユーモア・スキルを持った学生芸人さんの需要は高まることは間違いないでしょう。

以上